

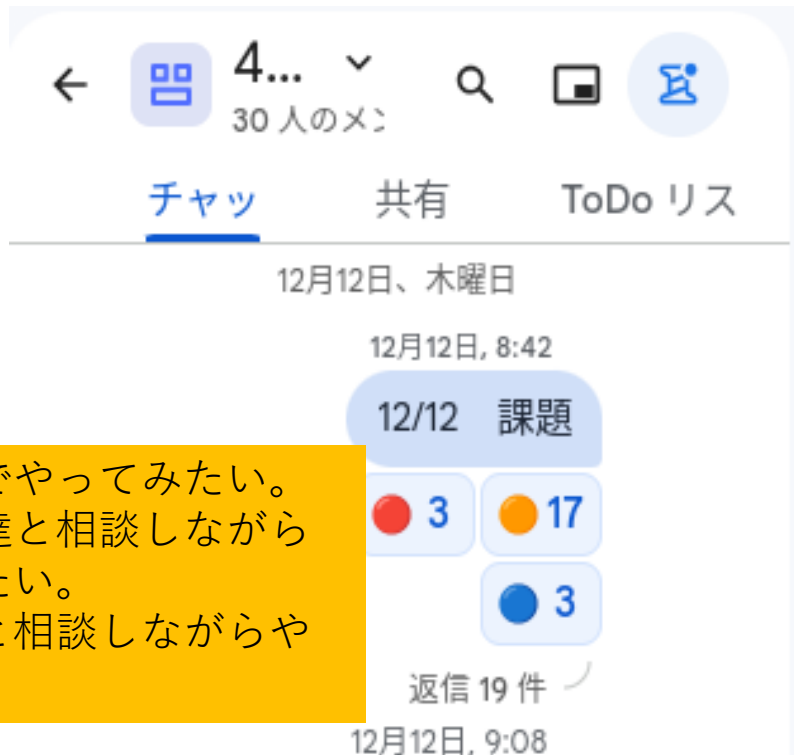
リーディングDXスクール事業【実践事例】

山梨県甲府市立石田小学校

【取組内容】GIGA環境を十全に活用した個別最適で協働的な学びの追究

Google Chatの活用

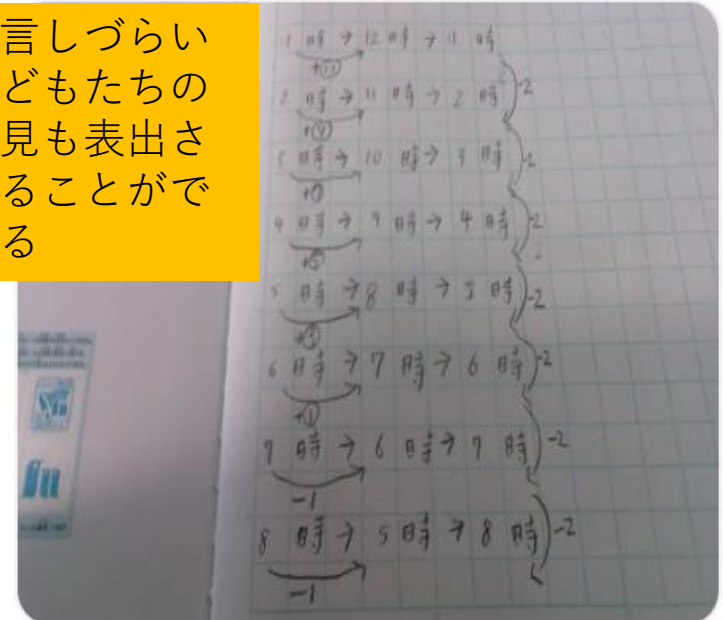
課題に対してどのように取り組んでいくのかを、チャットにリアクションで返答する。
これにより、教師側は児童の理解状況を把握ができ、児童側は方法選択の助けになる。



青は一人でやってみたい。
黄色は友達と相談しながら
やってみたい。
赤は先生と相談しながらや
りたい。

12月12日, 9:06

発言しづらい
子どもたちの
意見も表出さ
せることがで
きる



また、ノートに記述した自分の考えもカメラ機能で撮影してチャットに乗せることで、簡単に共有が可能である。

今まで実物投影機で全体に共有していたことが児童の手元で見やすくなり、また時間短縮にもなる。